

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命をまもりつづけたい~
広島県環境保健協会

兼 森 裕

広島市中区広瀬北町9番1号

郵便番号 730-8631

電話 082-293-1511番

振替口座01380-2-27511

URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

第66回広島県公衆衛生大会

公衛協活動の取り組みを決意 6つの行動指針を採択

第66回広島県公衆衛生大会「健やかな暮らしをつくる人々の集い」が、11月19日(水)に福山市の広島県立立川くまや産業交流館(ビッグ・ローズ)で開催され、県内各地から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など、約600人が参加しました。



公衆衛生活動において多大な成果をあげた42個人・5団体の功績を称え、表彰状が贈られた

この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体や、知識や経験を交流し、健康な県民の生活の実現に寄与することをねら

いに開催しており、式典や講演などを行っています。式典では、県知事、県医師会長及び環境保健協会理事長から公衆衛生活動において多大な成果をあげた42個人・5団体の功績を称え、表彰状が授与されました。

次に、地区衛生組織代表者会議の園尾俊昭議長が大会宣言文を読み上げ、災害時における公衆衛生活動、不法投棄対策などの環境づくり、フレイル予防などの健康づくり、脱炭素のまちづくりへの取り組み、地域活動の担い手が活躍できる場の創出などを宣言し、会場の大きな拍手によって採択されました(宣言文は2面)。大会宣言に掲

げた6つの項目は、向こう1年間の公衛協活動の柱となります。続いて「環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰式」を実施。最優秀賞、特別賞および地元福山市の優秀賞を受賞した児童・生徒が出席し、表彰状とトロフィーを受け取りました。

午後からは「元NHK「きょうの健康」キャスターが伝授!病気の予防につながる食事と運動とは?」と題し、元NHK「きょうの健康」キャスターの久田直子先生に講演をいただきました。久田先生は、NHK「きょうの健康」の司会を15年間務められ、その経験から得られた知識を分かりやすくお話ししていただきました(講演要旨は2面)。

最後に、開催地である福山市公衆衛生推進協議会の園尾会長と次期開催地である三次市公衆衛生推進協議会の皆さままで閉会のあいさつを行い、大会を締めくくりました。

座ってできる運動DVD 公衛協の健康づくり活動に活用を

当協会地域活動支援センターでは、現在、健康づくりの全県共通事業重点メニューとして実施している「STO P・フレイル事業」で活用してもらうため、椅子に座ってできる簡単な運動(ストレッチ)動

画を作成しています。動画は「リフレッシュ体操」と「つまずき予防体操」の2本があり、いずれも10分未満と短く、会議の合間の息抜きとして、また軽い運動がしたい時など、さまざまな場面で活用できます。

「リフレッシュ体操」は主に全身のストレッチを、「つまずき予防体操」では下半身、特に足首周りの運動を紹介しています。これらの動画をDVDに収録して各公衆衛生事務局に配付しており、「専門研修として実施した」講演会で視

聴した「総会の休憩時間に、リフレッシュ体操の映像を流した」など、活用事例の報告を受けています。また、STO P・フレイル事業の講師派遣メニューとして、地域支援課職員が実際に指導しながら体験することもできます。公衛協の健康づくり活動の一環として、この運動動画をぜひご利用ください。

新年のご挨拶



理事長 兼 森 裕

皆さまには、平素から公衆衛生の向上に向けて、環境づくりと健康づくりを目標として、地域ぐるみの実践活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

新年あけましておめでとうございます

昨年11月には、福山市で広島県公衆衛生大会を開催し、多くの方々にご参加いただきました。盛会のうちに終えることができ、ありがとうございました。感謝しております。心より御礼申し上げます。

今年(ひのえうま)の年。情熱・行動力に富み、勢いがあり、新しい挑戦に適した年と言われています。60年前の1966(昭和41)年1月1日の「公衆衛生(「環境と健康」の前身)巻頭言には、「健康は人生の基礎。誠実は諸徳の根源」という言葉が紹介されていました。さらに、1年の計は元日にありと記されています。

そして、「よい指導者を見出す。公衆衛生新聞の活用を望む」という表題の記事もあります。60年前のこの記事には、「良

い組織が長く続くための要素はたくさんあるだろうが、何となく最も最大の要素は中心となる良い指導者が続くことである」「良い指導者は専門家になることである。少なくともこの新聞を続けて読めば、一般の人々よりずっと専門家になれる」とあります。その後の60年、良い指導者に恵まれ、公衆衛生推進活動は続いてきました。

「みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい」を基本理念とする環境保健協会ですが、地域社会の発展と住みよい未来の創造に、更に貢献できますよう、役員員丸となって取り組んでいく所存です。新年を迎えるにあたり、皆さまのご多幸を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

DVDを見ながら運動 (地域活動支援センター)

一般財団法人 ~みんなの生命をまもりつづけたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんほきよう

検索

基本理念

みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい。

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。



防災イベントで森づくり紹介

間伐材パズル体験や木の幹の展示など

昨年11月2日、当協会は広島テレビ放送株式会社主催の「いま動こう！みんなで防災」フェス2025」に出展しました。このイベントは、体験を通じて防災について知ってもらうことを目的に開催されたもので、約6千人が来場しました。



森の機能について説明する職員

当協会のブースでは、広島県

産ヒノキの間伐材を使用した「組子細工」の体験をメインに、「かんほきよの森」での活動を

紹介するポスターの掲示や、「かんほきよの森」から採取した木の幹の展示と紹介などを実施しました。

当協会が取り組んでいる「かんほきよの森」づくりは、「水源

涵養を基軸とした、森林が有する多面的機能が持続的に発揮すること」を目的としており、

砂災害防止や洪水緩和などがあるため、防災の視点で森林に関心を

持つてもらいたいことを出展のねらいとしました。

パズル体験では、時間帯ごとに設定した予約枠が全て埋まる9人

「パズルの木の種類の何ですか」「森林と防災は関係あるのですか」などの質問も多くあり、森林に関心を

持ってもらえたのではないかと思います。森林と防災の関係については、

本紙3面の「かんほきよの森」をご覧ください。

今後もイベント出展などを通じて、参加された方に森林を身近に感じていただけるような取り組みを進めてまいります。

イベントでは、パズルの木の種類の何ですか」「森林と防災は関係あるのですか」などの質問も多くあり、森林に関心を

持つてもらいたいことを出展のねらいとしました。



パズルの体験者

食品ロス削減の新たな一歩

賞味期限の延長と廃棄物の再利用を推進

⑩株式会社やまだ屋

今回は、株式会社やまだ屋の島田敏行さん、末益千恵子さんに、食品ロス削減に向けた取り組みについてお話をうかがいました。

全国で食品ロス削減に向けた取り組みが広がる中、もみじ饅頭を中心に、伝統と革新を融合した和菓子づくりを続ける広島のお菓子メーカーが、独自の施策を進めています。まず、包装資材のバリア機能を高め、原料の配合を見直すことで、賞味期限を従来よりも約5日延長しました。これにより、販売期間を過ぎた商品の返品ロス率が2%まで下がり、廃棄される食品の削減が期待されています。

さらに、卵の殻や小豆の皮、規格外品など、



工場見学が可能な「おおのファクトリー」

これまで産業廃棄物として処理していたものを、肥料として再利用する仕組みを導入しました。2024年8月から開始されたこの取り組みでは、1年間で約88トンの廃棄物を有効活用しました。加えて、小豆の皮に含まれる食物繊維やポリフェノールに着目し、健康価値の高い原料としての活用も進めています。



やまだ屋のもみじ饅頭

株式会社やまだ屋は、これまで「ひとつひとつに思いを込めて」という理念のもと、菓子製造を行ってこられました。今後は「資源循環型の生産体制を構築し、食品ロスのさらなる削減を目指して持続可能な社会の実現に貢献したい」としており、今後の展開に注目が集まっています。

私たちの暮らしに不可欠な食品事業者の取り組みについて、関心を持ち、買う、選ぶことで一緒にCO2削減を目指しましょう。

(脱温暖化センターひろしま)

日環協・環境セミナー全国大会で最優秀賞を受賞

当協会・環境生活センター微量分析課の井原名美技師が、10月16日に札幌市で開催された「2025年度第32回日環協・環境セミナー全国大会 in 蝦夷」において「農薬類(シマジン、チオベンカルブ、有機リン)における分析効率化の検討」というテーマで発表し、最優秀賞を受賞しました。

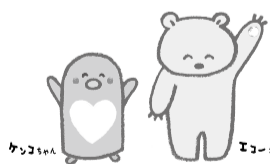
今回の発表では、効率的で公定法以上の精度を有する分析法について報告しました。

当協会では、今後も環境分析における公定法などのさまざまな問題点などを検討し、お客様により良いサービスを提供するため業務の改善に努めてまいります。



最優秀賞

令和7年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和7年度で66回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円)

36,199,448円
(令和7年11月末実績)

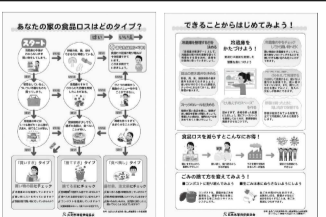


環保協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【食品ロス削減事業】

脱温暖化・快適な環境づくりの一環として、「食品ロス削減(2000年度と比べて、2030年度に半減)」を目的に、食品ロス削減に取り組む公衛協を支援します。

食品ロスタイプ診断パネル 質問に「はい」、「いいえ」で答えて、食品ロスのタイプ(完璧、買いすぎ、捨てすぎ、食べ残し)を診断します。



市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,138,250	85.3
海田町	1,372,520	69.1
熊野町	1,411,200	106.5
坂町		
江田島市	1,573,750	98.0
竹原市		
大崎上島町	279,700	99.0
大竹市	2,064,690	91.2
廿日市市	2,788,071	85.7
廿日市市大野	1,992,420	79.2
廿日市市佐伯	269,865	83.6
廿日市市吉和	39,100	94.7
廿日市市宮島	176,200	94.8
安芸太田町		

市町別一覧表

※この表は、令和7年11月末日現在、各市町公衛協から募金委員会に報告のあった募金額を記載しています。